

鑑賞にかかわる基礎・基本

1 鑑賞の能力面の基礎・基本

作品の見方や感じ方
よさや美しさ，作者の心情などを感じ取る力
美意識や美的判断力

2 内容面からの基礎・基本

美術作品などの表現の意図や方法の理解
文化遺産や文化財などの特質の理解
日本の美術の変遷と作品等の特質
美術と人間とのかかわりの理解

これからの美術の指導に当たっては，各内容を学習させていく過程でこれらのことが一人一人の生徒の個性を生かしながら確実に定着し，美術の活動にだれもが自分なりの自信をもって愛好していくことができるよう，指導方法や柔軟な題材の研究・開発をし，確かな実践に結びつけていくことが大切である。

造形遊びとのかかわり

中学校美術では，小学校における「造形遊び」は行わないこととしている。中学校においては，小学校における「造形遊び」をはじめ様々な学習において経験し身に付けた様々な能力・知識を生かして，さらに自分の意図する表現を高めていくのである。ただし，楽しく創造的・独創的な表現をしていく上で「造形的な要素」は，大切な要素であり，遊びの要素を取り入れて行うことは，生徒それぞれの表現意図や鑑賞をより深めるために必要な場合には奨励されるべきことである。すなわち，「造形遊び」としてははじめから「遊びという学習形態」としては行わないが，生徒各自が必要によって，遊びを生かして発想したり表現方法に取り入れたり，遊び性を生かした鑑賞をするなどのことは大切な学習としている。

